

飛騨地域夏秋トマト栽培における 施肥設計支援システムを開発しました

夏秋トマトは地力窒素の寄与が大きい品目・作型であり、これに応じた施肥が重要です。

飛騨地域の夏秋トマト栽培において、地力窒素を加味して、適正な窒素施肥量を提示する、トマト施肥設計支援システムを開発しました。

トマト施肥設計支援システム

オンライン オフライン

認証設定 プロキシ設定

ほ場情報

地点名

中山間農業研究所

緯度

経度

36.2288

137.1788

ほ場の緯度・経度を入力！

土壌の情報

仮比重 (kg / L)

1.0

土壌の仮比重・作土深を入力！

作土深

20

CODを入力！

COD

180

mgO / 100g

CODは、可給態窒素の簡易・迅速評価法により評価した値を用います。

栽培情報

定植日

終了日

作型

2023/05/11

2023/11/05

5月中旬定植(基肥あ)

目標粗単収を入力！

目標粗単収

15 t / 10a

面積

15

マルチの種類を選択！

マルチの種類

黒マルチ

基肥の種類・量を入力！

基肥

肥料

施肥日

施肥量

A L A 入トマト用ロング60

2023/05/07

80

kg / 10a

有機アグレット655eco

2023/05/07

80

kg / 10a

+ 追加

- 削除

完了時にグラフを表示する

出力結果を保存する

保存先パス (入力例→ C:¥Users¥username¥Documents)

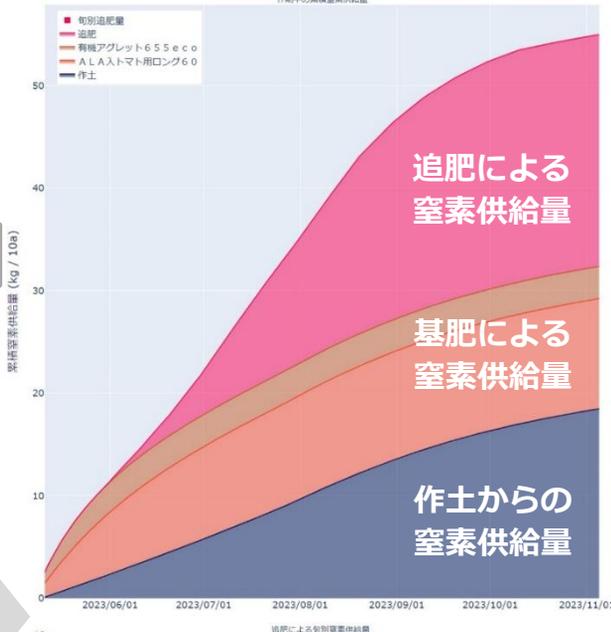
算出

▶ ログを表示する

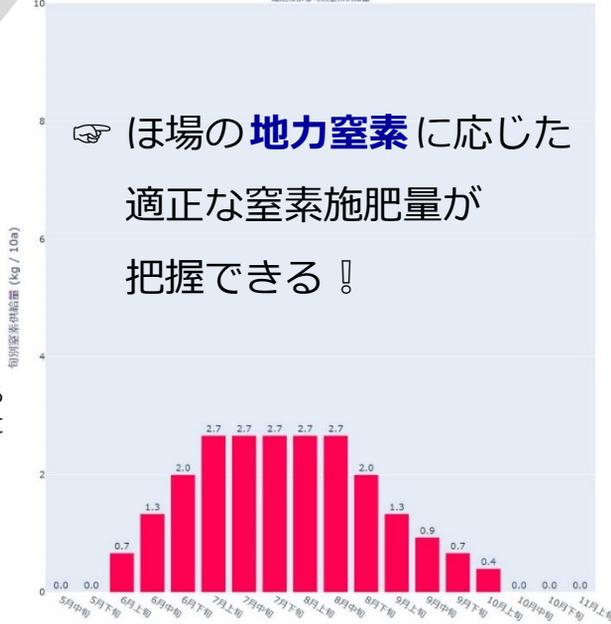
ほ場の緯度・経度、マルチの種類は、栽培期間中の作土の地温推定に用います(農研機構メッシュ農業気象データを利用しました)。

地点名: 中山間農業研究所

作期中の高積窒素供給量



ほ場の地力窒素に応じた
適正な窒素施肥量が
把握できる！



(岐阜県農業技術センター 土壤化学部)